

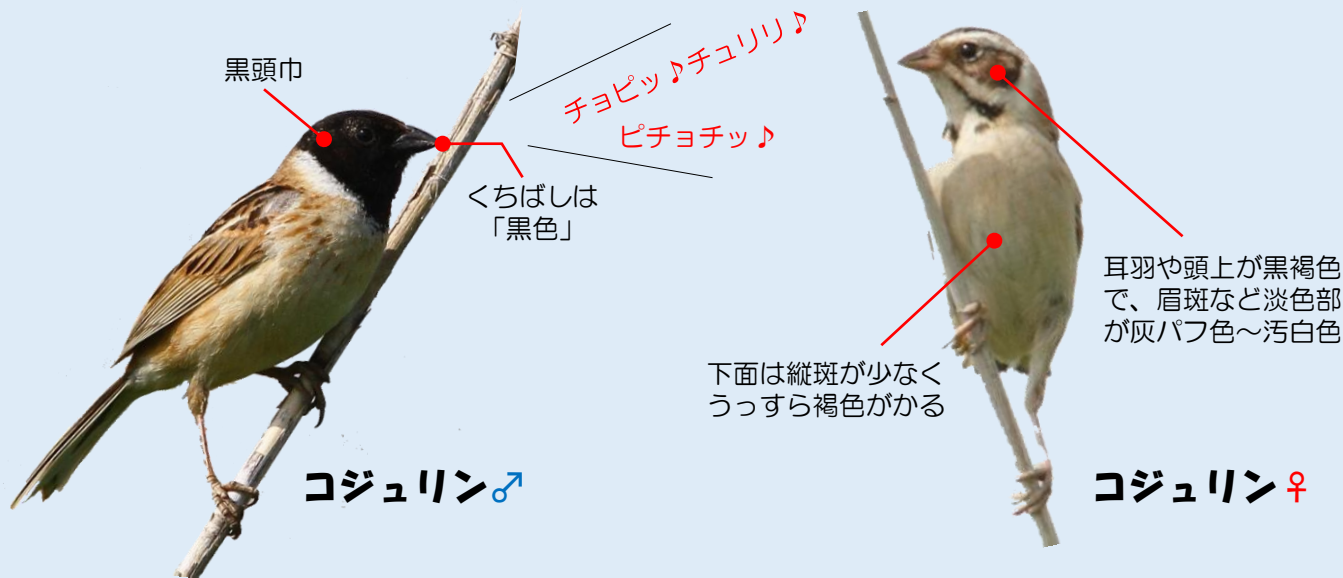


コジュリン・オオセッカの特徴



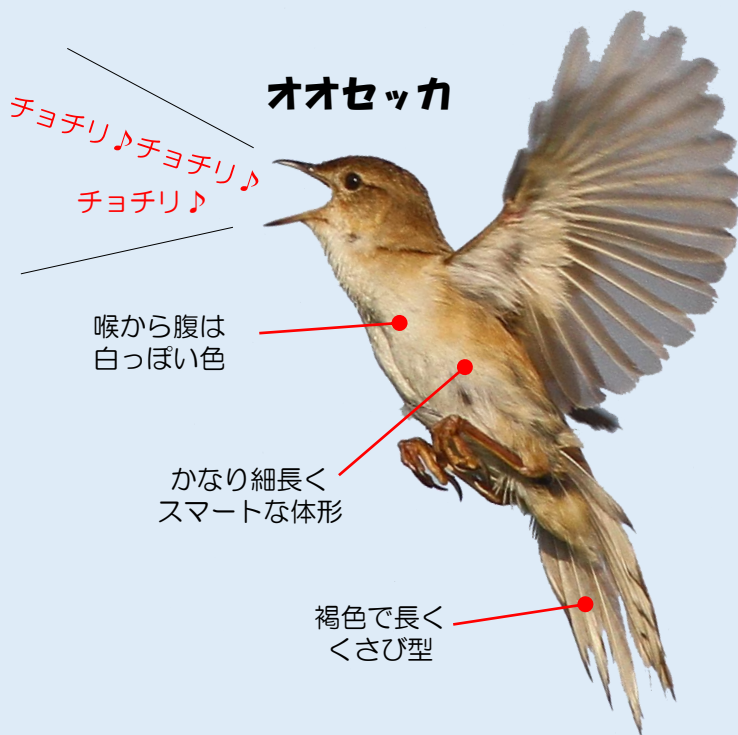
コジュリン スズメ目ホオジロ科 学名：*Emberiza yessoensis* 全長約15cm

コジュリンは、絶滅危惧II類です。オスは、春と夏の時だけ頭が黒くなるのが特徴的で、秋と冬にはメスと同じ茶色になります。さえずりは、オスが求愛や自分の縄張りを主張するために歌うことをいい、コジュリンのさえずりは、可憐で美しいものです。



オオセッカ スズメ目センニュウ科 学名：*Locustella pryeri* 全長約13cm

オオセッカは、絶滅危惧IB類で、繁殖地以外で見るとは非常に難しく希少な野鳥です。メスはオスよりも小さく、同じ色をしています。繁殖期になると、オスがさえずりながら飛び出し、1~3mほど上昇して、放物線を描きながら、すぐに降りるのが特徴です。



オオセッカの巣